

- 問1 後醍醐天皇が行った「建武の新政」に関連する人物や出来事の説明として、正しいものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. 聖徳太子が制定した冠位十二階に基づき、家柄に囚われない人材登用が行われた。
 2. 北条泰時が御成敗式目を制定し、建武の新政における裁判の基準とした。
 3. 鎌倉幕府を滅ぼすのに協力した足利尊氏が、後に離反して光明天皇を擁立した。
 4. 平氏を滅ぼした源頼朝が、後醍醐天皇から征夷大将軍の職を授かった。
- 問2 中世の日本で見られた、農民による自治組織「惣」が定めた「惣掟」の性質について、正しい説明はどれですか。 (2020年 滋賀県公立入試 類似)
1. 幕府が農民を統制するために全国一律の基準で制定した法律である。
 2. 守護大名が自らの領地の安定をはかるため、村ごとに通達した規則である。
 3. 寺社の僧侶が参拝客の安全を守るため、神社の境内に掲げた参拝の作法である。
 4. 農民たちが寄合を開き、村の秩序維持や資源管理のために自律的に定めた決まりである。
- 問3 鎌倉時代に親鸞が開いた浄土真宗（一向宗）が、室町時代にかけて社会に大きな影響を与えた理由について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
1. 遣隋使や遣唐使によってもたらされた最新の学問を学ぶことを重視し、知識人階級からの圧倒的な支持を得たから。
 2. 「南無阿弥陀仏」を唱えれば救われるという分かりやすい教えが農民らに広まり、講という組織を通じて強く団結したから。
 3. 唐から招かれた鑑真の戒律を厳格に守ることで、国家を鎮める祈祷を行うことを最大の目的としたから。
 4. 加賀国（石川県）などの守護大名と協力することで、幕府から公式な宗教としての保護を強く受けていたから。
- 問4 奈良市柳生にある石碑には、1428年の正長の土一揆に際して、徳政が行われた事実を後世に伝える文章が刻まれています。この石碑が象徴している、当時の民衆の要求や行動の目的として最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 領主の交代を求めて、特定の村落が他の地域と協力して武力行使すること
 2. 借金の支払いを免除するよう、幕府や高利貸しに強硬に迫ること
 3. 商業の利権を独占するため、有力な寺社や公家に税を納めること
 4. 信仰を共にする門徒たちが、守護大名の支配を排除して自治を行うこと
- 問5 禅宗の僧である雪舟が、墨の一角で風景などを描き出す「水墨画」を大成させた背景として、禅宗が当時の武士に受け入れられた理由をふまえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 自ら座禅を組み、厳しい修行によって悟りを開こうとする禅宗の教えが、武士の精神的な支えとなったため。
 2. 念仏を唱えるだけで救われるという簡潔な教えが、文字の読み書きを不得手とする当時の多くの武士に普及したため。
 3. 阿弥陀仏を信じることで、死後は誰もが平等に極楽浄土へ行けるという教えが、戦乱に明け暮れる武士に安心を与えたため。
 4. 加持祈祷を行うことで、現世での利益や病氣平癒を祈る教えが、領地の発展を願う武士の要求に応えたため。
- 問6 飛鳥時代から室町時代初期にかけての日本の歴史的事項について、古いものから順に正しく並べ替えたものを選びなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 大化の改新 → 平将門の乱 → 承久の乱 → 平治の乱 → 建武の新政
 2. 大化の改新 → 平将門の乱 → 平治の乱 → 建武の新政 → 承久の乱
 3. 大化の改新 → 平治の乱 → 平将門の乱 → 承久の乱 → 建武の新政
 4. 大化の改新 → 平将門の乱 → 平治の乱 → 承久の乱 → 建武の新政
- 問7 室町幕府の第3代将軍である足利義満が、朝貢という形で明との貿易（日明貿易）を行い、そこで得た豊かな経済力を背景に保護・奨励した出来事として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 雪舟を明へ渡航させ、水墨画の技法を学ばせた
 2. 観阿弥・世阿弥の親子を重用し、能を大成させた
 3. 千利休に茶室を造らせ、わび茶を完成させた
 4. 出雲の阿国という女性を保護し、歌舞伎の原型を作らせた
- 問8 室町時代の民衆の動きをまとめた資料の中で、浄土真宗（一向宗）の信仰で強く結びついた人々が、加賀国（現在の石川県）で守護大名を倒した出来事が記されています。その後、約100年にわたって武士や農民らによる自治が行われたこの出来事の名称を選びなさい。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 正長の土一揆
 2. 加賀の一向一揆
 3. 山城の国一揆
 4. 島原・天草一揆
- 問9 1333年に鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇が京都で開始した、公家を重視し天皇自らが政務を司る政治体制を何といいますか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
1. 寛政の改革
 2. 院政
 3. 建武の新政
 4. 承久の乱
- 問10 室町時代に足利義満が明（みん）と始めた貿易において、正式な貿易船であることを証明するために「勘合」という合い札が用いられた理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
1. 沿岸部で略奪行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別するため
 2. 朝鮮半島での通商権をめぐり、宗氏が対馬での検問を行うため
 3. 輸入品である銅銭の流通量を制限し、国内の物価を安定させるため
 4. 東南アジア方面へ渡航する日本船に、幕府が独占的な許可を与えるため
- 問11 室町幕府の三代将軍である足利義満が、有力な守護大名を抑えて幕府の権威を確立した時期に、京都の北山に建立された別荘の名称を答えなさい。この建物は、禅宗の影響を受けた建築様式と、平安時代以来の貴族の住居である寝殿造が融合した三層構造を特徴としています。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 金閣（鹿苑寺舍利殿）
 2. 平等院鳳凰堂
 3. 唐招提寺金堂
 4. 銀閣（慈照寺観音殿）
- 問12 室町時代の中期以降、農民たちが「徳政令（とくせいれい）」を求めて「土一揆（つちいっき）」を起こし、土倉や酒屋を襲撃する事件が頻発しました。農民たちがこれらの業者を襲撃の標的とした直接的な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 海外との貿易を独占する業者に対し、自分たちの農作物を輸出するよう求めたため。
 2. 業者が持つ強力な自警団が、農村の土地を無理やり奪い取ろうとしたため。
 3. 借金の証文（借用書）を破棄させ、借りていた金を帳消しにするため。
 4. 業者が幕府と結託して、米の価格を不当に引き上げる操作を行っていたため。
- 問13 14世紀の東アジア情勢をまとめた年表において、中国での「明の建国」や朝鮮半島での「朝鮮国の建国」と同時期の日本の状況として正しいものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 後醍醐天皇による建武の新政が崩壊し、持明院統と北条義時統の2つの朝廷が並立した
 2. 徳川家康が関ヶ原の戦いで勝利し、江戸に幕府を開いて全国を支配した
 3. 平氏を滅ぼした源頼朝が、征夷大将軍に任命されて鎌倉幕府を開いた
 4. 織田信長や豊臣秀吉が、各地の戦国大名を屈服させて天下統一を進めた

答え合わせ・解説

問1	答え 3 鎌倉幕府を滅ぼすのに協力した足利尊氏が、後に離反して光明天皇を擁立した。	建武の新政に不満を持った武士たちの支持を集めた足利尊氏は、後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏が京都を占領して光明天皇を立てたのに対し、後醍醐天皇は吉野（奈良県）に逃れて自らの正統性を主張したため、日本は南北朝時代という分裂期に突入することになります。
問2	答え 4 農民たちが寄合を開き、村の秩序維持や資源管理のために自律的に定めた決まりである。	惣は、有力な農民を中心に形成された村の自治組織です。彼らは村の共同作業である用水の管理や、山林（入会地）の利用方法について自分たちで話し合い、その合意事項を「惣掟」としてまとめました。掟に背いた者には罰を科すなど、外部の権力に頼らず自分たちで村の秩序を維持しようとする、中世農民の自立性の高まりを象徴する資料です。
問3	答え 2 「南無阿弥陀仏」を唱えれば救われるという分かりやすい教えが農民らに広まり、講という組織を通じて強く団結したから。	親鸞が開いた浄土真宗は、念仏を唱えるだけで救われるという教えであったため、文字の読めない農民などにも広く浸透しました。信徒たちは「講」と呼ばれる集まりを通じて団結力を高め、室町時代には加賀国のように、一向一揆によって守護大名を倒し、約100年にわたって自治を行う地域も現れました。
問4	答え 2 借金の支払いを免除するよう、幕府や高利貸しに強硬に迫ること	奈良県の「柳生徳政碑文」には、徳政によって借金がなくなった事実が刻まれており、当時の民衆が実行行使によって「徳政（借金の帳消し）」を勝ち取ったことを証明する貴重な資料です。土一揆は単なる暴動ではなく、借金で生活が立ち行かなくなった人々が生きるために起こした団結行動でした。
問5	答え 1 自ら座禅を組み、厳しい修行によって悟りを開こうとする禅宗の教えが、武士の精神的な支えとなったため。	禅宗は、自身の力（自力）で修行を積み、悟りを目指すという特徴を持っています。このストイックな姿勢が、命がけで戦う武士の気風に合ったことが普及の大きな要因となりました。これに伴い、禅の精神を反映した、無駄を削ぎ落として墨一色で本質を描こうとする水墨画の文化が、雪舟らによって発展しました。他の選択肢は浄土宗（他力本願）や真言宗（密教・現世利益）に関する説明です。
問6	答え 4 大化の改新 → 平将門の乱 → 平治の乱 → 承久の乱 → 建武の新政	大化の改新は7世紀の中大兄皇子らによる政治改革です。平将門の乱は10世紀中頃の平安時代中期に東国で起きた武士の反乱です。平治の乱は12世紀後半、平氏が権力を握るきっかけとなった源氏との争いです。承久の乱は13世紀前半の鎌倉時代に後鳥羽上皇が幕府を倒そうとした事件です。建武の新政は14世紀、鎌倉幕府滅亡直後に後醍醐天皇が行った政治改革を指します。
問7	答え 2 観阿弥・世阿弥の親子を重用し、能を大成させた	足利義満は日明貿易（勘合貿易）を独占することで莫大な富を築き、その財力を背景に北山文化と呼ばれる華やかな文化を支えました。義満は観阿弥・世阿弥という優れた才能を持つ親子を保護し、伝統芸能である能を完成させる大きな役割を果たしました。出雲の阿国や千利休は、時代が異なる（安土桃山時代など）人物です。
問8	答え 2 加賀の一向一揆	室町時代の中期から後期にかけて、浄土真宗の門徒たちは強い団結力を持ち、各地で「一向一揆」を起こしました。特に加賀国では、1488年に守護大名の富樫氏を倒し、その後、織田信長に敗れるまでの約100年間、民衆による自立的な統治が続きました。これは当時の社会において、宗教的な結びつきが政治的な力にまで発展した重要な事例です。
問9	答え 3 建武の新政	鎌倉幕府を倒した後、後醍醐天皇は武士の力を抑え、公家を中心とした政治を復活させようしました。これを「天皇親政（天皇みずからが行う政治）」と呼び、元号をとって建武の新政といいます。しかし、この政治は武士の期待に沿わなかったため、わずか2年余りで崩壊することとなりました。
問10	答え 1 沿岸部で略奪行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別するため	14世紀後半、東アジアの沿岸地域では「倭寇」と呼ばれる海賊集団が略奪活動を活発化させていました。明の皇帝は日本に対して倭寇の取り締まりを強く求めたため、足利義満はこれに応じて倭寇を鎮圧するとともに、正式な貿易船には明から交付された「勘合」という合い札を持参させました。これにより、海賊と幕府公認の貿易船を厳格に区別する仕組みが整いました。なお、「朱印状」を用いて渡航許可を与えたのは後の時代の御朱印船貿易です。
問11	答え 1 金閣（鹿苑寺舍利殿）	足利義満は、南北朝の合一を成し遂げるとともに、日明貿易を独占して幕府の経済基盤を固めました。その圧倒的な権力を象徴するのが、京都の北山に建てられた金閣です。この時期の文化は、貴族の優雅な文化と武士の質実剛健な文化、さらに禅宗の影響が混ざり合っており、その代表的な建築物が金閣です。外壁に金箔が貼られた華やかな外観は、当時の幕府の勢いを示しています。
問12	答え 3 借金の証文（借用書）を破棄させ、借りていた金を帳消しにするため。	凶作や重税に苦しむ農民たちは、生活のために土倉から借金をしていました。返済が困難になると、彼らは集団で「土一揆」を起こし、質屋である土倉などを襲って借金の証文を奪い、破棄することで強制的に借金を帳消しにしようしました。幕府に対しても、公式に借金を無効とする「徳政令」の発布を強く要求しました。
問13	答え 1 後醍醐天皇による建武の新政が崩壊し、持明院統と北朝の2つの朝廷が並立した	14世紀の日本は、鎌倉幕府が滅亡した後の「建武の新政」から、足利尊氏らによって北朝と南朝の2つの天皇・朝廷が対立する「南北朝時代」へと移行した時期にあたります。中国での明の建国（1368年）や、朝鮮半島の高麗滅亡と朝鮮国建国（1392年）は、いずれもこの日本の南北朝の動乱期と同じ世紀に起きた出来事です。